

第1回 情報セキュリティ関連分野に係る技術に関する施策・事業評価検討会

議事要旨

1. 日時：平成26年2月18日（火） 13：10～16：15
2. 場所：経済産業省本館2階西1右 商務情報政策局第二会議室
3. 出席者

（検討会委員）[敬称略・五十音順、※は座長]

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 後藤 厚宏 | 情報セキュリティ大学院大学 情報セキュリティ研究科 教授 |
| 関口 和一 | 株式会社日本経済新聞社 編集委員 兼 論説委員 |
| 田辺 孝二 | 東京工業大学大学院 イノベーションマネジメント研究科 教授 |
| ※徳田 英幸 | 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科委員長 教授 |
| 西村 敏信 | 公益財団法人金融情報システムセンター 監査安全部長 |

（事務局）

- | | |
|-------|---------------------|
| 上村 昌博 | 商務情報政策局情報セキュリティ政策室長 |
| 大崎 人士 | 商務情報政策局情報セキュリティ政策室 |
| 中谷 順一 | 商務情報政策局情報セキュリティ政策室 |
| 室井 佳子 | 商務情報政策局情報セキュリティ政策室 |
| 岡田 実 | 産業技術環境局技術評価室 |

富田 高樹 みずほ情報総研株式会社 経営・ITコンサルティング部 シニアコンサルタント

4. 配付資料

- 資料1 情報セキュリティ関連分野に係る技術に関する施策・事業評価検討会委員名簿
- 資料2 本評価検討会の公開について
- 資料3 経済産業省における研究開発評価について
- 資料4 評価方法（案）
- 資料5 情報セキュリティ関連分野に係る技術に関する施策の概要
- 資料6 情報セキュリティ関連分野に係るに係る技術に関する施策評価用資料
- 資料7 評価報告書の構成（案）
- 資料8 評価コメント票

質問票

参考資料1 経済産業省技術評価指針

参考資料2 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準

5. 議事概要

(1) 評価検討会の公開について

事務局から、資料2により、評価検討会の公開について説明がされた後、本評価検討会について、会議、配付資料等を公開とすることが了承された。

(2) 評価の方法等について

事務局から、資料3、4により評価の方法等について説明が行われ、了承された。

(3) 主な発言等概要

- ・ 技術を評価するには、成果のどの部分が技術的に優れているかを捉える必要があり、目標を達成したかどうかのみでなく、具体的にどのようなファクトを得たかの情報を提供して欲しい、また実施にあたってどこまで実現できて、何が難しかったのかについての実施者による自己評価を知りたいとの意見があった。
- ・ 得られた成果が当初の目標に対してどのようなレベルのものかを判断するために、各テーマの実施計画書において設定されている目標と、その根拠に関する情報についてはさらに詳細なものを提供して欲しいとの意見があった。
- ・ 費用対効果に関する項目にプロジェクトの波及効果に関する記述があるが、成果がプロジェクトの投入費用に見合ったものかどうかを記入すべきとの意見があった。
- ・ 属性ベース暗号に関して、どの程度の大きさのモデルとファイル容量で実証実験を行ったのか、規模感を把握したいとの意見があった。
- ・ 打ち切りになったプロジェクトの成果の活用について、経済産業省においてどのような判断を行ったのかを知りたいとの意見があった。
- ・ 資料中で社名非公開になっている企業に対し、別途委員に対して開示して欲しいとの要望があった。
- ・ サイバーセキュリティテストベッドの構築に関して、目標が設計方法や認証方法の研究開発とあるが、成果に研究開発に関することが書かれていないとの質問に対し、本来の目標は研究開発を行うことができる模擬プラント等の環境を整備することであるので、それがわかるように修正するとの回答があった。
- ・ サイバーセキュリティ演習についてもっと積極的に情報発信してよいのではとの意見に対し、どの企業等が参加しているかがわかると攻撃を行いやすくする影響があるので避けているが、演習の実施自体についてはさらなるアピールを考えたいとの回答があった。

(4) 今後の予定について

評価コメント票の提出期限については、委員からの意見に対応した追加資料の配付後に改めて設定することを確認した。第2回評価検討会は3月14日（金）15：00～17：00で開催することを予定しているが、資料の準備状況に応じて再設定することとなった。

以上